

以下の項目についての説明です。

- A プログラムのはいったインストーラーファイルの取得と展開
- B Microsoft Access 2007 以降でのマクロ禁止の解除のメッセージ対応  
セキュリティ強化の中でプログラムを動作させるためのメッセージ応答
- C Access 2007 以降のリボン環境での弊社専用ツールバーの表示
- D ナビゲーションウインドウの表示を格納する方法
- E プログラムの関連付けを手動で正しくする方法 通常は不要です。  
Access ランタイム(無償)を同時にインストールしたときに発生する場合があるときの対応

## A インストーラーファイルの形式

自己解凍形式のファイルが Windows のセキュリティ強化にともないダウンロードできないようになっていますので ZIP 圧縮ファイル形式になっています。

## プログラムのインストール（新タイプ）

Access タイプ弊社プログラムにはマイクロソフト社の Access 2007～2013 いずれかの製品版か Access 2007～2013 ランタイム版が必要です。(Access 97、2000 では使用できません。) このインストーラーでは本プログラムインストール後に続けて Access ランタイムのインストールもすることができますが、それをキャンセルすることもできます。

Access 製品版をお持ちのユーザーは必ず、ランタイムのインストールはキャンセルしてください。  
理由 Access 製品版をお持ちの方がもしランタイムのインストールするとファイル作成などの機能が阻害される可能性がきわめて高いです。その場合、ランタイムをアンインストールしてから Access 製品版の再インストールをする必要があります。

### ダウンロードファイルの展開とインストーラーの起動

ダウンロードした ZIP 圧縮ファイルをダブルクリックするとインストーラーや関連ファイルのはいったフォルダーを表示します。(例 「アドバンスト多目的会員ランタイム ver303」というフォルダー)、そのフォルダーの中の setup.exe をダブルクリックします。

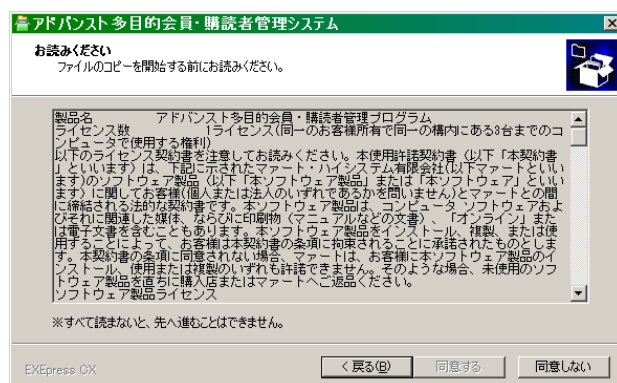


setup.exe

## インストーラーの動作

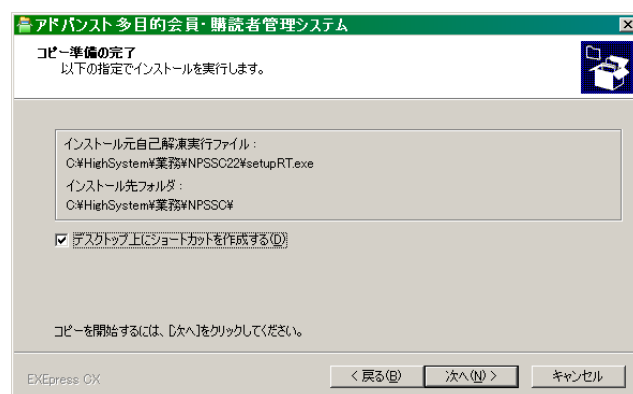
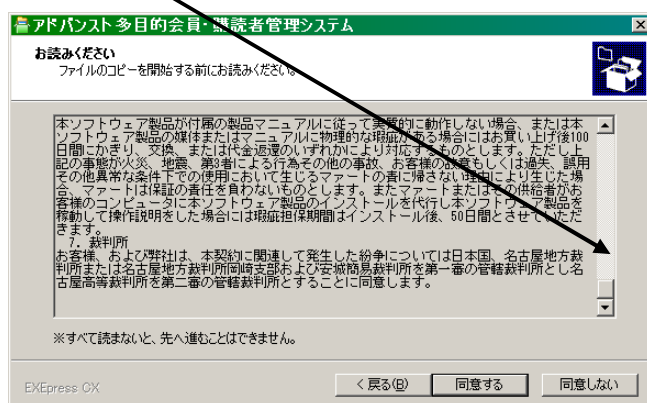


ここでは「アドバンスト多目的会員・購読者システム」を例に説明しますが、他の製品でもタイトルが異なる以外は同様の順序で操作します。「次へ」ボタンを押します。



使用契約許諾書を表示します。「同意する」ボタンが使用不可状態です。

使用契約許諾書を一番下までスクロールして読まないで「同意する」ボタンが押せません。  
スクロールバー



「同意する」「次へ」と押していくとプログラムファイルをインストールしていきます。インストール完了すると続いて Access ランタイムをインストールするか、しないか選択のため、以下の注意画面がでます。

なお Access ランタイム (Access Runtime) をインストールするためにはパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

下記注意書きを必ず読んでから、この画像を閉じてください。

この後、マイクロソフトの Access Runtime 2013 (アクセス ランタイムモジュール 無料) のダウンロードとインストールを開始するウィンドウが表示されます。

**重要** Microsoft Access2007 以降の有料製品版の所有者はインストール不要なので必ずウィンドウを閉じてキャンセルしてください。



インストールする場合は「実行」のボタンを押します。30 秒ほどでダウンロードし、その後インストールが開始されます。



「同意します」にチェックをいれ「続行」ボタンを押します。

続いて Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。下図のメッセージには「OK」のボタンを押してください。



その次には「はい」のボタンを押してください。



その後、次のメッセージで完了です。



**注** Microsoft Access は各 Office 製品の Professional 版以上に含まれるか、単独の Access 製品版です。Office Standard 版や Personal 版には含まれていません。

Access 製品版をお持ちのユーザーは以下ランタイムのインストールは必ず、キャンセルします。

2度画面がフリッカーしてから Access を必要な場合は Access Runtime のダウンロード指示ウィンドウが出ます。インストールする場合は「実行」を押します。30 秒ほどでダウンロードが完了。不要な場合はこのウィンドウを閉じます。



続いて Access Runtime 初期画面の左下の「マイクロソフトソフト・・・同意します」をクリックしてから「続行」ボタンを押してランタイムをインストールします。

ランタイムのファイルがインストールされていきます。

終了メッセージが出て完了です。

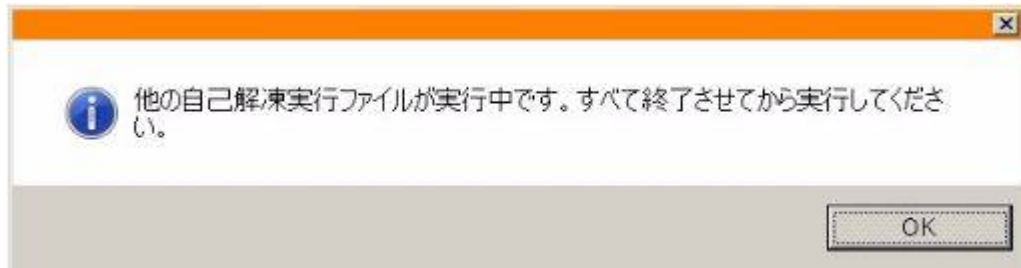
キャンセルの場合 ウィンドウを閉じる×ボタンを押します。

## B Microsoft Access での「信頼できる場所」の設定

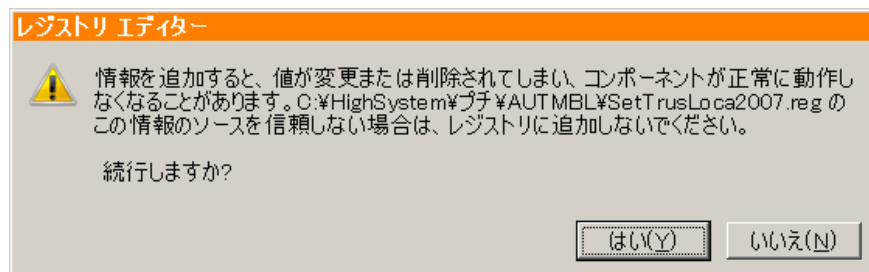
Access 2007 以降では「信頼できる場所」というものが設定されていないとマクロ(ビジュアル・ベーシックを含む)が禁止されます。この状態では弊社プログラムは動作しません。それを解除する方法です。インストール途中で設定されます。

Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。

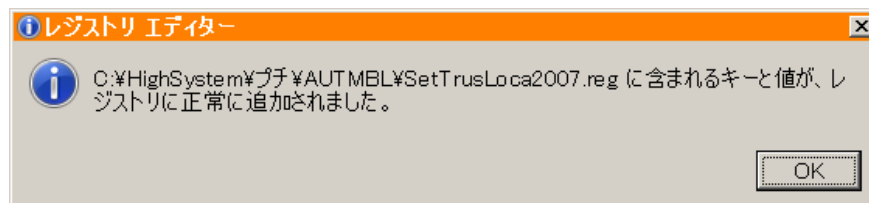
最初に下図のメッセージがでますので「OK」のボタンを押してください。ただし、この後には次々とメッセージが出るため一番下になってしまいます。



次に下図のメッセージがでますので「はい」のボタンを押してください。



その後、次のメッセージが出て設定は完了です。



インストール時にこれをしなかった場合はインストール先のフォルダーに

「SetTrusLocaAll.reg」という名称のファイルがあるのでダブルクリックしてください。

## C 2007 以降の Access のリボン環境での弊社専用ツールバーの表示

Access 2007 以降ではツールバーが廃止されてリボンというものに変更されました。マアートツールバーはアドインというタブを押すと表示します。画面の上にオーバーラップ表示する場合もあります。

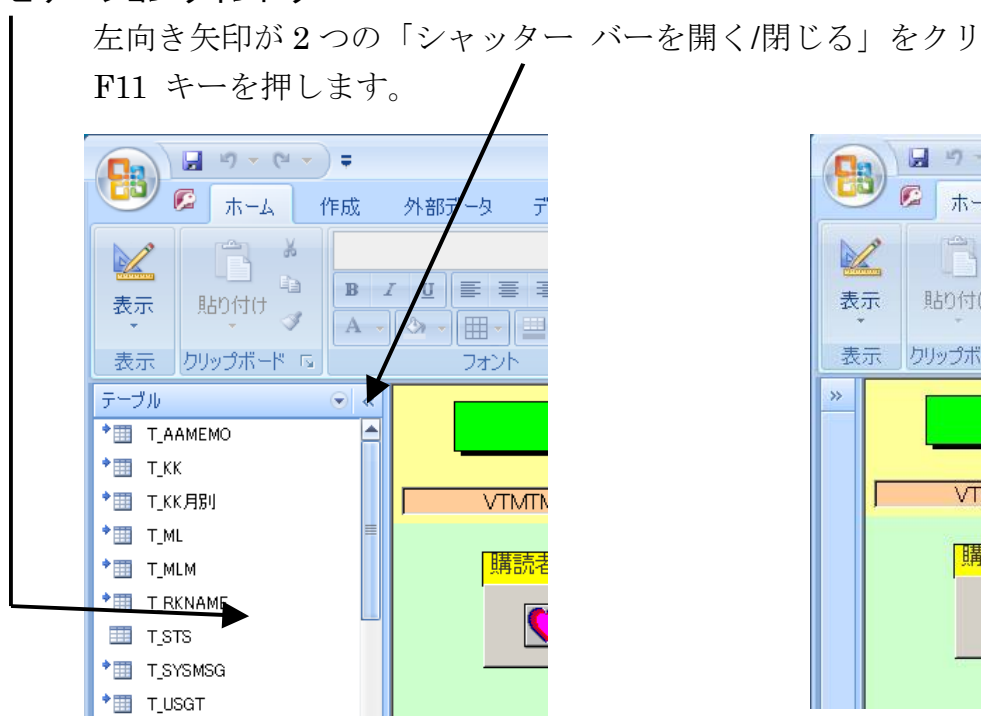


## D ナビゲーションウィンドウの表示を格納する方法 通常は不要です

Access の製品版では弊社プログラムを起動するとライセンスキーを登録していない場合やデータ復元している場合などに画面の左端にナビゲーションウィンドウを表示する場合があります。Access Runtime を使用している場合には表示しません。

### ナビゲーションウィンドウ

左向き矢印が 2 つの「シャッター バーを開く/閉じる」をクリックするか、F11 キーを押します。



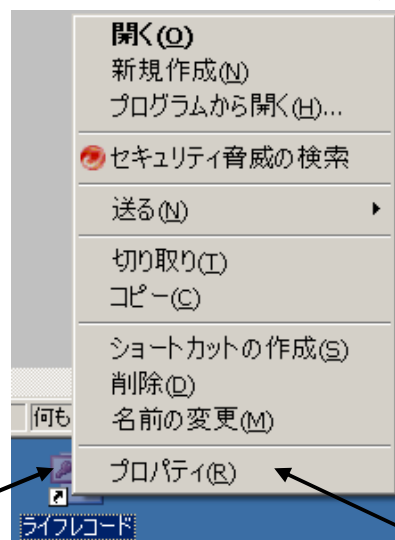
F11 キーは押すたびにナビゲーションウィンドウを閉じたり開いたりします。



## E プログラムの関連付けを手動で正しくする方法

弊社プログラムはマイクロソフト社の Access 上で動作します。製品版の Access ではなく Access ランタイムモジュールでも動作します。その Access ランタイムモジュールは弊社プログラムのインストール途中でインストールするかしないかの選択ができます。製品版をお持ちの方は Access ランタイムモジュールのインストールはキャンセルしますが、お持ちでない方はインストールしないと弊社プログラムは動作しません。ただ Access ランタイムモジュールをインストールしても弊社プログラムが起動しないことがあります。それは Access との「関連付け」が正常に作動していない場合があるからです。その場合の対処方法を説明します。

1 パソコンのデスクトップに作成された弊社プログラムのショートカットがあります。名称はそれぞれのプログラムの名称または略称になっています。それをマウスの右ボタンでクリックします。メニューがでますので「プロパティ」の項目を選択します。

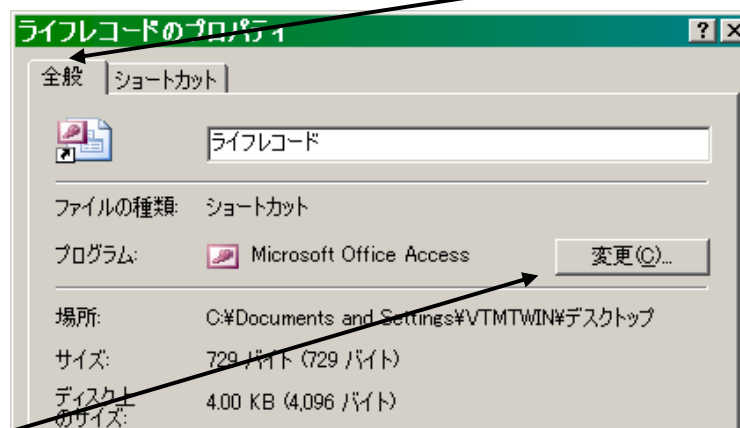


ショートカット

右ボタンのクリックでメニュー表示

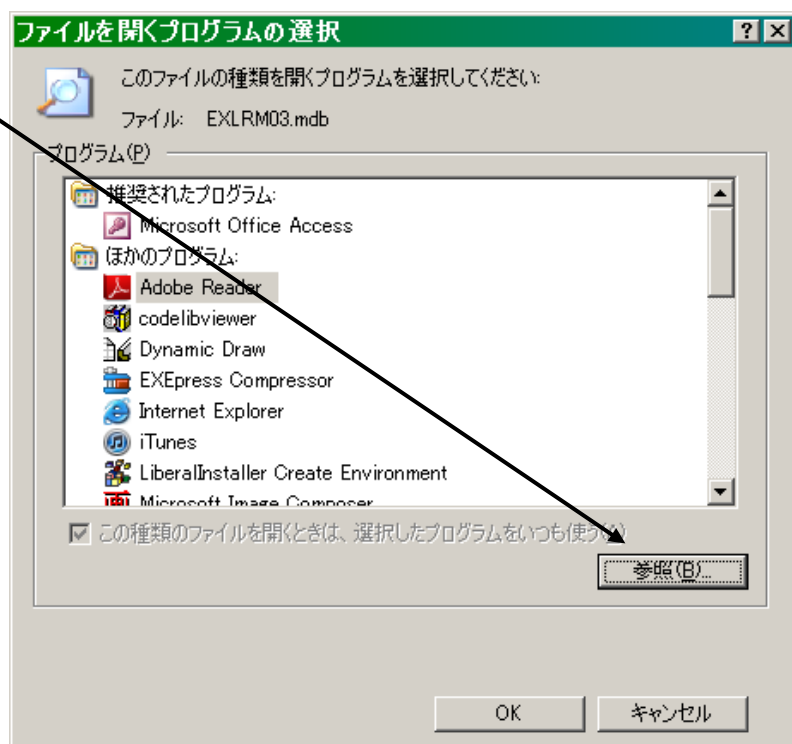
2 プロパティウインドウで「全般」タブをクリックします。

プロパティウインドウが開いたときは「ショートカット」タブになっているので「全般」をクリックして変更します。

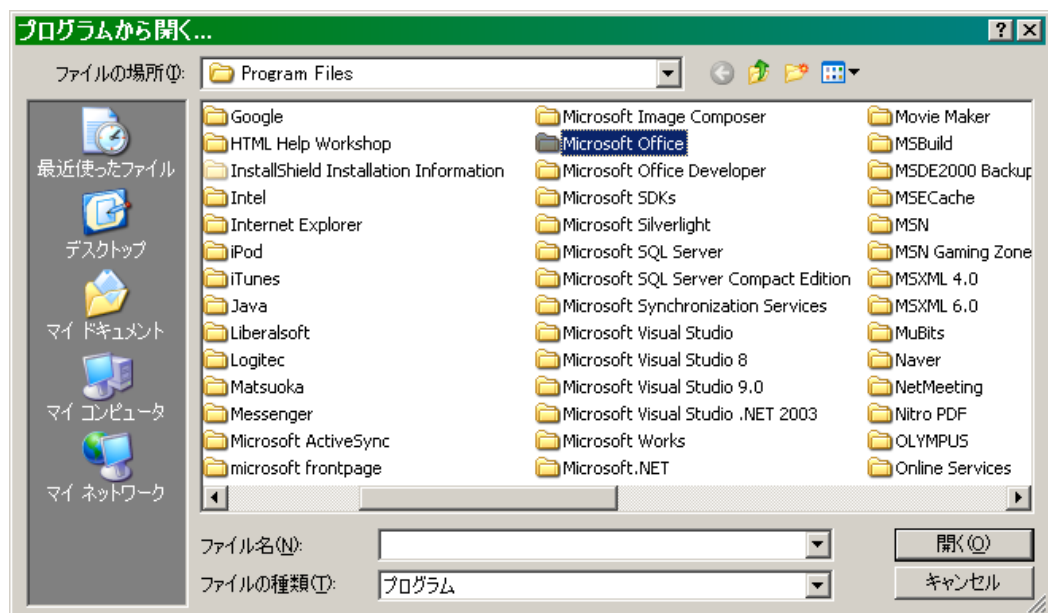


3 プログラムの「変更」ボタンを押します。

4 「プログラムを開くプログラムの選択」 ウィンドウが表示されます。  
参照ボタンを押します。



「Program Files」フォルダーが表示されます。



その中の「Microsoft Office」をダブルクリックします。  
さらに「Office12」をダブルクリックします。

「Office15」フォルダーの中の「MSACCESS.EXE」をダブルクリックするか「開く」ボタンをクリックすれば完了します。

